



金成地区 小中一貫校だより

第8号

栗原市教育委員会 教育部 教育環境推進室 平成25年05月31日発行
TEL 42-3513 / FAX 42-3518 / E-mail : kyokan@kuriharacity.jp

平成26年4月、金成地区内5小学校と金成中学校がひとつになって 栗原市で初めての小中一貫教育校が開校いたします。

金成小中一貫校建設工事の進み具合

生徒、保護者並びに関係者の皆さまに、ご不便をお掛けいたしております（仮称）金成小中一貫校の建設工事について、現在下記の完成予定を目指し工事が進んでおります。

引き続き、完成までの間ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【完成予定時期】 ※あくまで現段階での予定です。

- ①プール：平成25年6月完成予定
- ②体育館：平成25年7月完成予定
- ③校舎：平成25年12月完成予定

体育館は夏休み、校舎は冬休みを目途に引っ越しを行い、中学生が先行利用しながら、春休みには小学校の引っ越しを行い、平成26年4月の開校を目指しています。

この他にも、校舎完成後には、校舎周りの工事（外構工事）や現在の金成中学校校舎の解体、グラウンドの拡張及び整備工事を行う予定となっています。



あれっ!!
毎日クレーンや鉄骨は見えるけど
どんな学校が出来上がるの？

校舎は、3階建てですが敷地の地形を生かして、それぞれの階全てが地上部分に面した非常に特色のある校舎になります。おそらく日本では金成小中一貫校だけかもしれません。

1階は、放送室や児童生徒会室、小学生用の軽運動場等となります。

2階は、図書室とパソコン室が一体となったメディアセンターをはじめ、音楽室等の教科専門教室となります。

3階は、職員室等の管理部門と子どもたちが9年間を過ごす各学年教室で構成され、木材をふんだんに使った温かみのある校舎となります。

体育館は、バレーコート2面を確保でき、バスケット

トのオールコート1面も優に確保できる広さで、アリーナの天井高も12mと高いものとなります。

プールは、25m×7コースで、小中学生の体格差を考慮して、一部底上げした水深となっています。

金成小中一貫校の特色

一貫校における学年の考え方は、これまでの小学校

6年間と中学校3年間の「6・3」制を基礎としながら、新たに小学1～4年までを初等部、5～7年（中学1年）までを中等部、8～9年（中学2～3年）までを高等部とした「4・3・2」の緩やかな区切りを設けて、初等部では基礎・基本の確立期、中等部では小中の接続充実期、高等部では学習成熟期と捉え、一貫教育を進めていきます。

《現行》

《一貫校》

小学校	1年	初等部	1年	
	2年		2年	
	3年		3年	
	4年		4年	
	中学校	5年	中等部	5年
		6年		6年
7年		高等部	7年	
8年	8年			
9年	9年			

具体的な取り組みとしては、

◆5年生段階からの一部教科担任制の導入

中学校のような教科担任制を、5～6年生から一部の教科で導入し、7年生からの教科担任制へ滑らかな接続を講じ、学習意欲の向上を図ります。

◆9年間を通じた英語教育の導入

1年生からの英語活動、4年生からは英語の授業を開始し、9年間を通して英語によるコミュニケーション能力の基礎を育てます。

■あ と が き■

子どもたちの新しいスタートに向け、あと10か月となりました。今後も開校に向けた皆様のご協力をお願い申し上げます。